

所属・資格 体育学科・助教

申請者氏名 城間 修平

| | | |
|---|-------------------------------------|---|
| 研究課題 | | バスケットボールにおけるセンタープレイヤーの実践知 ー 一流バスケットボール選手の「語り」を手がかりに ー |
| 報告の概要 | 研究目的 および 研究概要 | <p>これまで筆者は、実際のゲームに参加するプレイヤーやコーチなどの「内部者」の目線に立ち入りゲーム分析を行ってきた。そこでは、実際のゲーム中に表れる「流れ」や「リズム」といった事象の発生契機とされるファストブレイク攻撃の「基本構造」やファストブレイク攻撃の中核を担っているガードマンプレイヤーとセンタープレイヤーの実践知(筆者の見解)を明らかにすることに成功した。</p> <p>そこで筆者は、ファストブレイク攻撃を成功させる為に重要な「動き出しのタイミング」や、そこで現れる「予測」や「判断」がどのような感覚で行っているのか、これまでに明らかにした知見と実際のプレイヤーによって導き出された実践知との整合性が取れているか確認していく。</p> |
| | 研究の結果 | <p>ファストブレイク攻撃を実際に行っているプレイヤーの「語り」から検討してみると、本研究で着目しているガードマンプレイヤーはボールを保持する前の段階で状況判断を下し、突破するのか、それともパスを出すのか、細かい部分にも気を配りながら、プレイしていた。また、それと同様にセンタープレイヤーも、ボールを保持する瞬間には、「走るコース」、「位置取り」等をしっかりと判断し、走り始めていた。</p> <p>つまり、ボールを前方に出すプレイヤー(ガードプレイヤー)、それを受けるプレイヤー(センタープレイヤー)の意思の疎通が瞬時の判断のなかでもしっかりと行われていることが「語り」から読み取れた。</p> |
| | 研究の考察・反省 | <p>自チームが ball-possession を得たと同時に、ガードプレイヤーは主として、自分自身(ガードプレイヤー)と先走りプレイヤー(センタープレイヤー)、相手方プレイヤーとの関係を瞬時に認識し、ファストブレイク攻撃が行われていた。また、リバウンドボールを獲得する事が非常に多いセンタープレイヤーの判断も非常に重要だということが確認できた。ボールを獲得し、瞬時にアウトレットパスを「誰に」「どこに」「どのようなスピードで」等をしっかりとその場の状況に応じて出すことがファストブレイク攻撃を成功させる上で非常に重要であった。</p> |
| 研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 | ※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 | <p>SFN 2018 第48回北米神経科学会 Visual strategies of elite athletes during attacks 2018 11 月 3 日 サンディエゴ</p> |
| 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者 | | |